

### 第3回彩都東部地区検討会の結果について

○とき：平成24年4月27日（金）午後4時00分～午後5時50分

○ところ：彩都（国際文化公園都市）建設推進協議会大会議室

○出席者：竹内理事（大阪府）、板田理事（茨木市）、瀬渡部長（（独）都市再生機構）、  
松本部長（阪急不動産㈱）、黒岩部長（三井物産㈱）、圓城部長（関電不動産㈱）  
事務局：彩都（国際文化公園都市）建設推進協議会

#### 【議事概要】

##### 1. 立地ニーズ調査

事務局より、立地ニーズ調査（企業向けアンケート）について説明し、以下の点について意見が出された。

- ・仮説1,2についてはどこまでの幅を考えているのか。何をしてほしいのかイメージが必要ではないか。（UR）
- ・あまり色々語らず顧客の判断に任せたほうがいいのか。（三井物産）
- ・1,000社に事業参画を求める際に地区内の地形の有効利用を求めるのか。（UR）
- ・周辺環境を考慮することはあるかもしれないが、具体的になっていないものが多いため、まずは情報提供をすることに意味があると考え。アンケートだけではすべてがわからないので、興味を持ってもらえる企業の動向を把握したい。その後、ヒアリングでより具体的な質問をしていきたいと考えている。（事務局）
- ・今までのような造成の仕方では住宅以外の受け入れが可能なのか。（大阪府）
- ・受け入れ検討はしたいと考えている。（事務局）
- ・今現在の状況下では、このアンケートはよくできている。他にも似たような調査を行っているが、まずはこの内容でいいと考える。返事があったところに個別に働きかける方が効率的である。（三井物産）
- ・仮説は4つバラバラに示すよりも企業側はイメージしやすくなった。ただ、「新名神」を活かした物流については確実に需要があると思われ、他の3つの仮説とはレベルが違うと捉えている。物流事業者へは、新名神や大規模消費地に近いなど、足回りの良さを存分に伝える作り込んだ資料を提供し、更に具体的な可能性を確認したいと思っている。（阪急不動産）
- ・茨木北ICは完成時期等を明記しておくべき。今年中に何とかなるわけではなく将来こうしたという回答が得られればよい。事実を正確に伝えることが必要である。（三井物産）
- ・アンケート結果の分析のスケジュールを考えると半年間での素案作成まであまり時間がない。詳細スケジュールを提示してほしい。（茨木市）
- ・6、7月にコンセプト素案修正、土地利用の可能性の検討を実施していくのであれば、内部での検討準備は早急に始めたほうがよい。（阪急不動産）
- ・WGで議論していきたい。（事務局）

##### 2. その他

次回検討会 6/29（金） 16：00～を予定